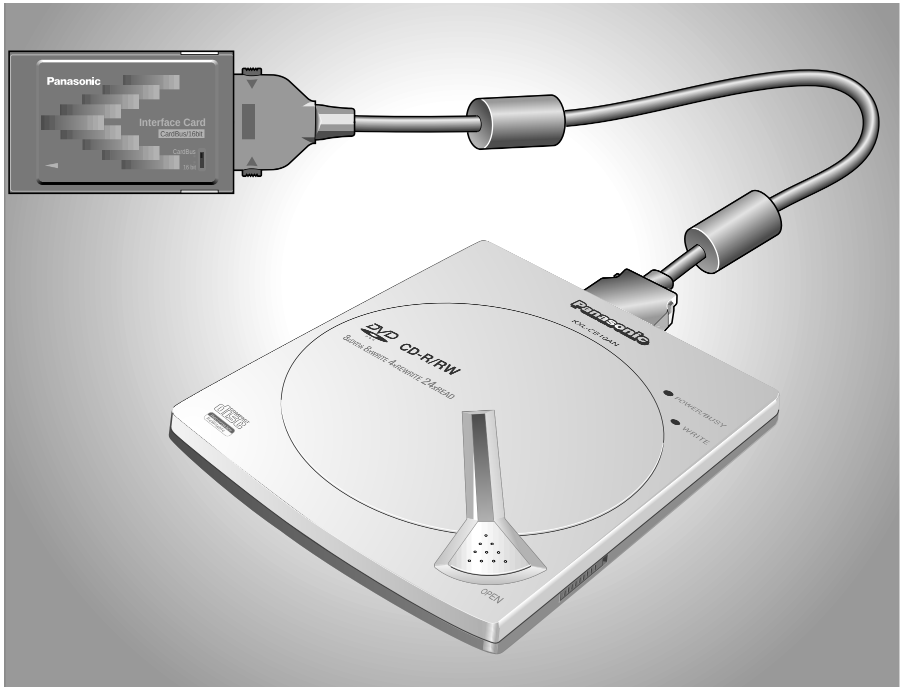
Panasonic

ポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブ

取扱説明書

品番 **KXL-CB10AN**



上手に使って上手に節電

保証書別添付

B 取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

B 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

このたびは、パナソニック ポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブ KXL-CB10AN をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

本機をパソコンで、CD-ROM、DVD-ROM ドライブもしくは CD-R/RW ドライブとして使用するためには、以下の操作を行う必要があります。

本書	•OS が Windows 98/Windows Me/Windows 2000 であることを確認する •パソコンにデバイスドライバーをインストールする •パソコンと本機を接続する •セットアップを確認する

（CD-ROM、DVD-ROM ドライブとしてご使用できます）

⬇

DVD ビデオ再生ソフト	• DVD ビデオ再生ソフトをインストールする 使用方法については、ご使用前によくお読みください。☞ 35～37ページ）

（DVD ビデオをご覧になれます）

⬇

書き込みソフト	• 書き込みソフトをインストールする （CD-R/CD-RW メディアへの書き込み、書き換え、その他の使用方法については、ご使用前によくお読みください。☞ 38～41ページ）

（CD-R/RW ドライブとしてご使用できます）

こんな疑問や質問があったら（☞ 52ページ）	ドライブを使用するときの、疑問・質問についての説明

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

高調波ガイドライン適合品

お知らせ

■本製品の使用により、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
■重要なデータに関しては、万一に備えて元データと照合（ファイルコンペア等）を追加した状態でバックアップ（複製）を行ってください。

お気をつけください

個人または家庭内など限られた範囲内での使用（以下「私的使用」といいます）を目的とする場合を除き、あなたが著作権をお持ちでない著作物を権利者に無断で複製することは著作権法で禁じられています。
また、著作物によっては、その使用許諾条件で複製が制限されたり、禁じられている場合がありますので、「私的使用」を目的とする場合でも使用許諾条件の内容に従ってください。

本機の特長

■ **スリム & コンパクトボディ**
ノートパソコンにマッチするわずか18.5mm（高さ）の
薄型 DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ

■ **CyberLink 社の DVD ビデオ再生ソフトを付属**
DVD ビデオの再生をソフトウェアにて手軽におこなえる DVD ビデオ
再生ソフト PowerDVD VR-X を付属しています。

■ **BHA 社の書き込みソフトを付属**
オリジナル CD を簡単な操作で作成できる B's Recorder GOLD と
パケットライトに対応した B's CLiP を標準で付属しています。

■ **OS リカバリー可能**＊1
起動ディスク作成ツールを標準付属しています。
このツールを用いて作成した起動ディスクでパソコンのシステムを
リカバリーする（工場出荷時の状態に戻す）ことが可能です。

＊1 A パソコンによっては、リカバリーできない場合があります。
A Windows 2000 では、リカバリーできません。

B Microsoft と Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
B B's Recorder GOLD と B's CLiP は株式会社ビー・エイチ・エーの商標です。
B Photo CD は Eastman Kodak Company の登録商標です。
B Adobe、Acrobat および Acrobat ロゴは Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
B PowerDVD™ はサイバーリンク株式会社の商標です。
B PC98 は NEC の商標です。
B その他、各社名および各商品名は各社の商標または登録商標です。
B Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
B 本書の記載内容は予告なしに変更される場合があります。

システムの必要条件

本機を使用するには、以下のシステム条件が必要です。

対応 パソコン＊1	B DOS/V ノートパソコン B PC98-NX シリーズノートパソコン
対応 OS＊1	B Windows® 98（日本語） B Windows 2000（日本語） B Windows Me（日本語）
CPU	B Pentium®Ⅱ400MHz、Celeron™ 433MHz 以上
メモリー	B 64 MB 以上
ハードディスク 空き容量＊2	B 100 MB 以上 (800 MB 以上を推奨)
対応インターフェース	B CardBus モード対応の PCMCIA TypeⅡカードスロットを装備した機種

＊1 Windows 98 サービスパック1 および Windows 98SE を必要とする場合があります。
Windows 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。（以下 Windows 98）
Windows 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 operating system です。（以下 Windows 2000）
Windows Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。（以下 Windows Me）
＊2 安定した書き込みを行うには、連続した領域を確保してください。

本機では、次のディスクが使用できます。

使用できるディスクについて

B DVD-RAM は DVD RAM のマークが入ったものをお使いください。

B DVD-ROM は DVD ROM のマークが入ったものをお使いください。

B DVD ビデオ は DVD VIDEO のマークが入ったものをお使いください。

B ビデオ CD は COMPACT disc DIGITAL VIDEO や VIDEO CD のマークが入ったものをお使いください。

B CD-R は COMPACT disc Recordable のマークが入ったものをお使いください。

B CD-RW は COMPACT disc ReWritable のマークが入ったものをお使いください。

B CD-ROM は COMPACT disc のマークが入ったものをお使いください。

B 音楽 CD は COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものをお使いください。

対応ディスク		
DVD-RAM*1	CD-i（ムービー）	CD TEXT*3
DVD-ROM	CD-ROM	Photo CD*4
DVD-VIDEO*2	CD-ROM XA	VIDEO CD*3
CD-DA	CD-R	
CD Extra	CD-RW	

*1 DVD-RAM ディスクの再生は、カートリッジから取り出し可能な TYPE2 メディアまたはカートリッジがないメディアで、UDF フォーマットのものにかぎります。（☞ 33ページ）

*2 再生可能な DVD-VIDEOは、再生可能地域コード（リージョナルコード）2（2を含むもの）または ALL の表示があるものです。他の地域コードのものは、リージョナルコードの設定変更が必要です。（☞ 37ページ）

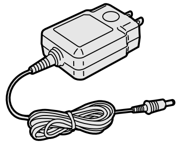
*3 付属ソフトを使用することにより、再生が可能です。

*4 使用時には市販の専用ソフトが別途必要です。

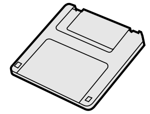
付属品のご確認

ご使用いただく前に、次のものがそろっているか確認してください。
万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

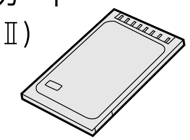
□AC アダプター
（KX-WZ710）



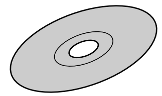
□セットアップディスク　1枚
（袋入り*2）



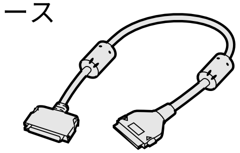
□インターフェースカード
（PCMCIA タイプⅡ）



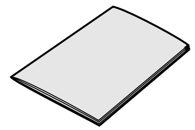
□メディア
• CD-RW　1枚



□インターフェース
ケーブル*1

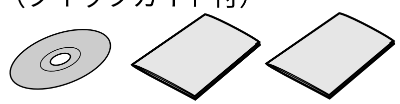


□取扱説明書
（本書）

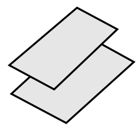


□ユーティリティディスク
（CD-ROM）

B's Recorder GOLD、
B's CLiP
（クイックガイド付）
PowerDVD VR-X
（クイックガイド付）



□保証書・ご愛用者カード



*1 イラストは現物と一部異なる場合があります。

*2 開封前に、必ず「エンドユーザーライセンス契約書」（☞ 70、71ページ）をお読みください。

もくじ

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

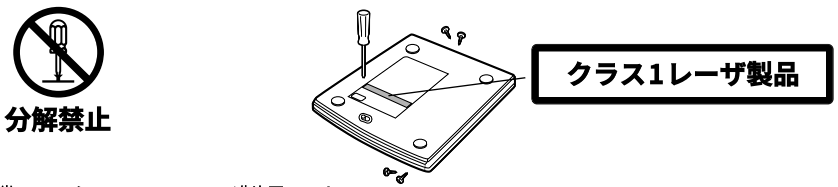
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

絶対に本機を分解したり、修理・改造しない

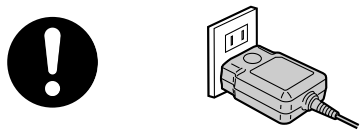


本機は、クラス1レーザ製品です。
レーザ光線による視力障害の原因になることがあります。

B 内部の点検や修理などは、販売店にご依頼ください。

⚠ 警告

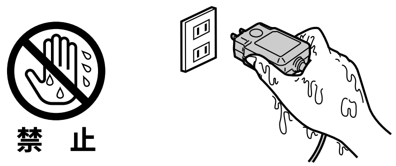
ＡＣ アダプターのプラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

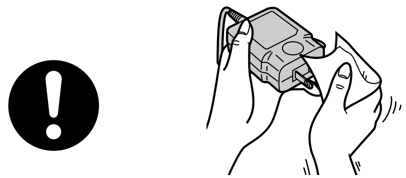
B 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、ＡＣ アダプターのプラグを抜き差ししない



感電の原因になります。

AC アダプターのプラグのほこりなどは定期的にとる

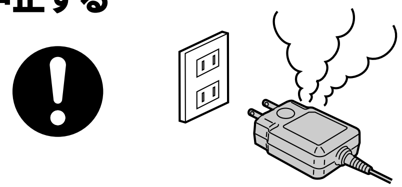


プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

B ＡＣ アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

B 長時間使用しないときは、ＡＣ アダプターを抜いてください。

ＡＣ アダプターから煙や異臭、異音が出たり、落下などにより破損したときは使用を中止する



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

B AC アダプターを抜いて、販売店にご相談ください。

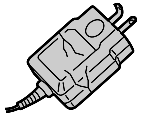
はじめに

⚠ 警告

ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、プラグを無理に曲げたりしないでください）

禁止

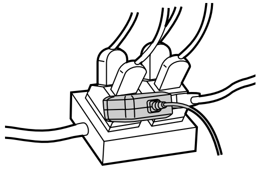


傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

B ACアダプターが破損した場合は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

禁止



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠ 注意

本機を水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しない

禁止

故障などの原因になることがあります。

使用場所について

■夏季の閉め切った自動車内や長時間直射日光の当たるところ、暖房器などの近くで使用したり、放置しないでください

変形・変色または故障の原因になることがあります。

ご使用について

■落下するなど強い衝撃や振動を与えないでください

故障の原因になることがあります。また、ディスク回転中に本機に衝撃を与えると、ディスクが外れ、傷つくことがあります。

■インターフェースカードやケーブルの端子に触れないでください

本機やパソコンの故障の原因になることがあります。

■本機やディスクを結露した状態で使用しないでください

寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になることがあります。

B ディスクを取り出し約1時間放置したのち、ご使用ください。

■本機に磁石など磁気をもつものを近づけないでください

磁気の影響を受けて、動作が不安定になることがあります。

■機器内部に金属物を入れないでください

故障の原因になります。

■レンズに触れないでください

音とびしたり、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。（☞ 44ページ）

■隣接して使用しているラジオやテレビに雑音が入るときは

B **2m以上離してください**

B **同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください**

ACアダプターについて

■付属のACアダプター・KX-WZ710（極性統一形プラグ）をご使用ください

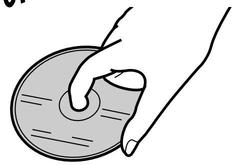
他のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

ディスク の取り扱い

■ディスクを長時間直射日光の当たる場所や高温の場所、湿度の高い場所に放置しないでください

ディスクが変形し、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■ディスクの信号記録面に触れないでください



ディスクが汚れると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■ディスクの指定の場所以外に文字を書いたり、ラベルを貼らないでください



ディスクが傷つくと、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

B 文字などを書く場合は、フェルトペンなどペン先の軟らかいものをご使用ください。

■乾いた布などでディスク表面を強くこすらないでください

ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■ディスクを投げたり、曲げたりしないでください

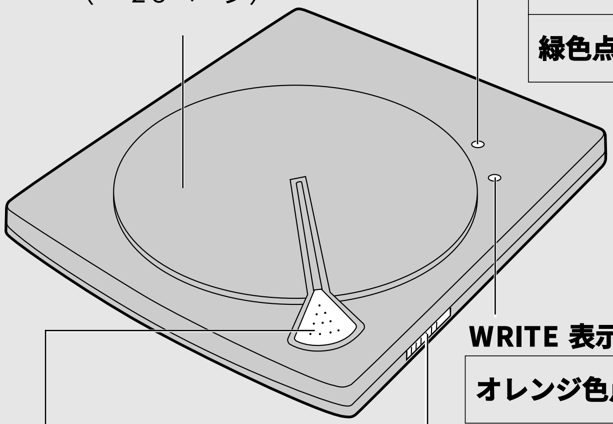
ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■ディスクを薬品や洗剤で拭かないでください

ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

各部のなまえとはたらき

前面／天面／左側面



ディスクカバー
(☞ 28ページ)

POWER/BUSY 表示ランプ

緑色点灯	本機の電源が入っているとき
緑色点滅	データを読み込んでいるとき

WRITE 表示ランプ

オレンジ色点灯	データを書き込んでいるとき

オープンボタン [OPEN]
(☞ 28ページ)

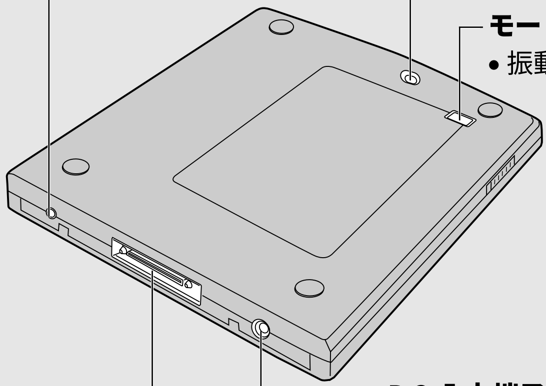
電源スイッチ
[POWER ⏻/I]
(☞ 26ページ)

お願い

- ご使用いただく前に、必ず本機のレンズ保護シートを取りはずしてください。
- ディスクカバーを開くには、30ページをご参照ください。



裏面／背面／右側面

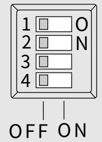


LINE OUT 端子
(☞ 32ページ)

強制オープンレバー
(☞ 30ページ)

モードスイッチ (☞ 18ページ)
• 振動検出モード

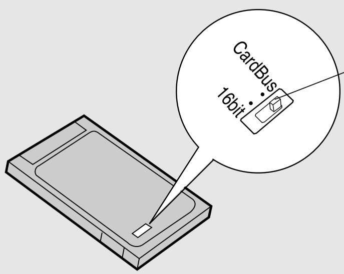
初期設定：



DC 入力端子
[DC IN 6 V ⊖–◐–⊕]
(☞ 24ページ)

インターフェース コネクター [I／F]
インターフェースケーブルを接続する
(☞ 25ページ)

インターフェースカード

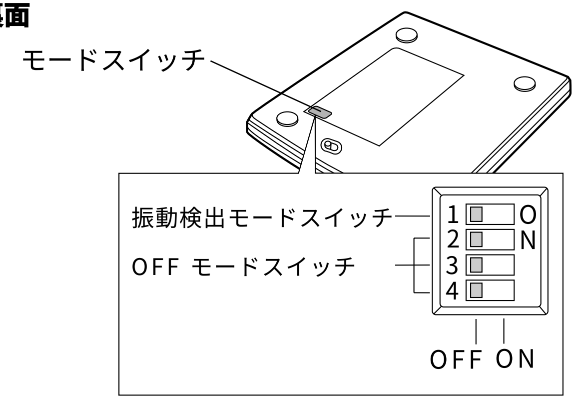


モード切替スイッチ
「CardBus」または「16 bit」のいずれかにモードを設定する
(☞ 25ページ)

出荷時は**「CardBus」**モードに設定しています。

設定する前に、本機の電源が切れていることを確認してください。
モードスイッチで、振動検出モードを設定することができます。
必要に応じて、ボールペンの先などで切り替えてください。

裏面



お願い
B モードスイッチ「2」～「4」は、必ず「OFF」のままお使いください。

振動検出 モードを設定する

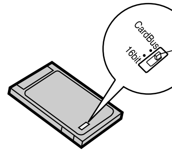
出荷時は**「OFF」**に設定しています。

モードスイッチ	設定	内　　容
1	ON	• 振動検出モードを解除します。回転速度は変わりません。
	OFF*	• ディスク回転中の振動が大きい場合、振動を抑えるために、自動的に回転速度を落します。

＊振動検出時は、データ転送速度が最大12倍速で動作します。

CardBus/16 bit モードについて

付属のインターフェースカードは、CardBus と16 bit の2つのモードに対応しています。本機を接続するパソコンの仕様をご確認のうえ、正しく設定してお使いください。



モード切替スイッチ
「CardBus」または「16 bit」のいずれかにモードを設定する（☞ 25ページ）

出荷時は**「CardBus」**モードに設定しています。

●CardBus モード
通常は、このモードでご使用ください。（☞ 20ページ）
本モードでは、32 bit でのデータ転送が可能となり、本機のデータ転送速度（☞ 68ページ）を最大限に発揮できます。

●16 bit モード
システムのリカバリー（再インストール）をする場合に、このモードをご使用ください。（☞ 43ページ）

CardBus/16 bit モードの使用条件

	CardBus モード	16 bit モード
対応 OS	Windows Me Windows 2000 Windows 98	Windows Me Windows 2000 Windows 98
パソコン仕様	CardBus（32 bit）対応パソコン	CardBus（32 bit）および 16 bit 対応パソコン
システムのリカバリー	ー	対応しています

CardBus モードを確認する

CardBus モードで使用する場合は、次の内容をご確認ください。

■ Windows Me/Windows 98 でご使用の場合

PC カードスロットのモードを確認する
（Windows 2000 プリインストールパソコンでは、ほとんどの場合 CardBus モード対応となっております。）

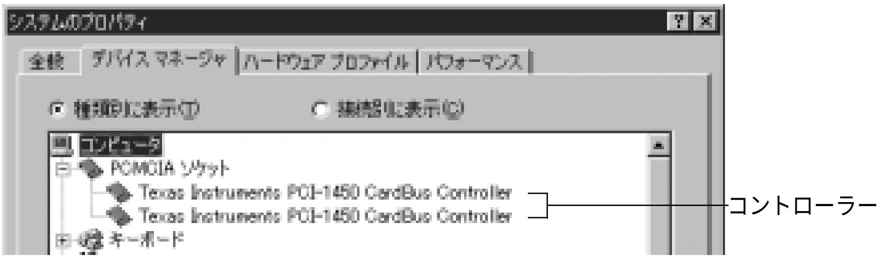
1 画面上の「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする

3 「PCMCIA ソケット」左の ⊞ をクリックする

- PCMCIA ソケット内に CardBus 対応のコントローラーが組み込まれていれば、CardBus モードで使用できます。



「CardBus Controller」の製造元・モデル名は、お使いのパソコンによって異なります。「CardBus」の名称が入っていることをご確認ください。

お知らせ

B パソコンのシステムによっては、BIOS 設定または PCMCIA ソケットの設定を CardBus モードまたは 16 bit モードに切り替える必要があります。パソコンの説明書をご参照のうえ、CardBus モードに設定してください。

- PCMCIA ソケット内に CardBus 対応のコントローラーが組み込まれていない場合は、16 bit モードでご使用ください。

準備

セットアップする

デバイスドライバーをインストールする

お願い

B セットアップ作業中にパソコンのバッテリーが切れないように、パソコンは AC 電源でお使いください。

1 付属のセットアップディスクをフロッピーディスクドライブに入れる

2 画面の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、「3.5インチ FD A:」（フロッピーディスクドライブが A の場合）をダブルクリックする

3 「Setup.exe」をダブルクリックする

「セットアップ」の画面が表示されます。



4 「デバイスドライバー（B)」のチェックボックスにチェックを付けて、OK をクリックする

インストールが開始されます。

お知らせ

B 「ヘルプファイル」にチェックを付けると、ヘルプファイルをインストールすることができます。

B UDF2.0 形式でフォーマットされた DVD-RAM ディスクを再生するには、対応した UDF リーダーが必要です。
「UDF リーダー」にチェックを付けてインストールしてください。

準備

5 インストール終了画面が出たら OK をクリックし、セットアップディスクを取り出す

6 ドライブをパソコンに接続する

「パソコンに接続する」(☞ 25、26ページ)の手順を行ってください。

Windows Me/Windows 98 の場合

ドライバー組み込み画面が表示されます。
• CardBus モードの場合「KXLC006 PCMCIA Card(CardBus)」
• 16 bit モードの場合「KXLC006 PCMCIA Card」
画面が消えるとドライバーの組み込み終了です。

Windows 2000 の場合

下の画面が表示されたら「はい」をクリックしてください。



「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示された場合は、「完了」をクリックしてください。

お知らせ
B 手順6 でドライバー組み込み画面が表示されずに「新しいハードウェア追加ウィザード」が表示された場合は、その指示に従ってください。

準備

セットアップする

■デバイスドライバーをアンインストールするには

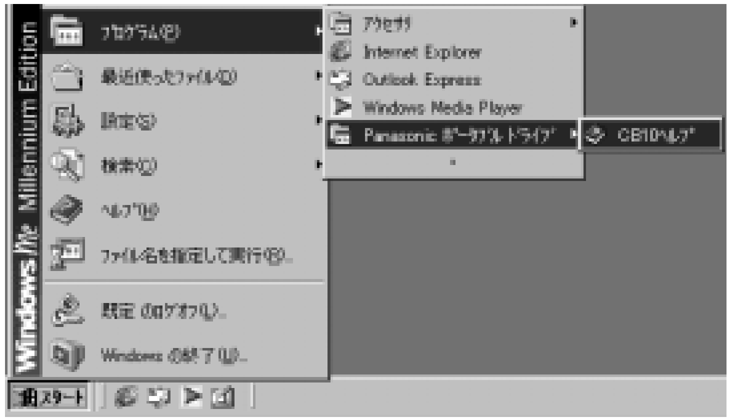
インターフェースカードをパソコンから抜いて、セットアップディスクの「Setup.exe」を実行する。「アンインストール(U)」を選択し、「デバイスドライバー(B)」にチェックを付けて OK をクリックしてください。なお、B's CLiP をインストールしている場合は、はじめにB's CLiP をアンインストールしてから本機用のデバイスドライバーをアンインストールしてください。

ヘルプファイルを見るには

デバイスドライバーと同様にヘルプファイルもインストールしてください。(☞ 21ページ)

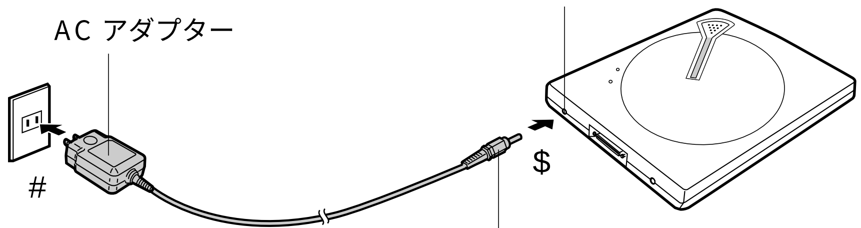
1 スタート をクリックし、「プログラム(P)」をポイントする

2 「Panasonic ポータブル ドライブ」をポイントして、「CB10ヘルプ」をクリックする



準備

AC アダプターをつなぐ



AC アダプターを電源コンセントに接続する

$ **AC アダプタープラグを本機の DC 入力端子へ接続する**

お願い

B 長時間使用しないときは、節電のため AC アダプターを電源コンセントから抜いておいてください。
[本機の電源スイッチを切った状態でも、約1W の電力を消費しています。(AC 100 V 時)]

B AC アダプターを電源コンセントに接続する場合は、本機近くの容易に抜き差しできる電源コンセントをお使いください。

インターフェースカードのモードを設定する

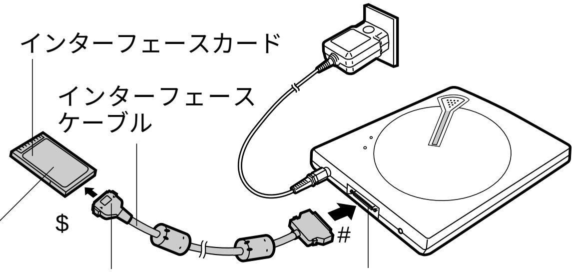
使用するモード(CardBus/16 bit)にインターフェースカードのモード切替スイッチを切り替えてください(☞ 17ページ)。切り替える場合は、ボールペンの先などで切り替えてください。

インターフェースカードとケーブルを本機に接続する

接続は確実に行ってください。

本機へインターフェースケーブルを接続する

$ **インターフェースカードにインターフェースケーブルを接続する**

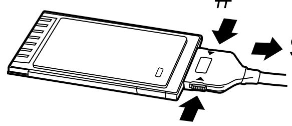


お願い

B 付属のカード・ケーブル以外は使用しないでください。
(本機やパソコン本体を損傷する恐れがあります。)

B 付属のインターフェースカードを、本機以外の機器で使用しないでください。

■インターフェースケーブルの取り外し



両側のタブを押しながら

$ **まっすぐに引き抜く**

(ドライブ本体側も同じです。)

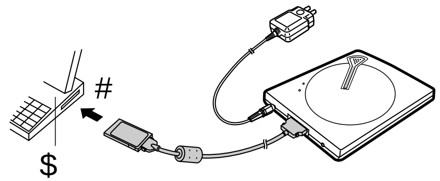
お願い

B インターフェースケーブルを強く引っぱらないでください。
(破損の原因になります。)

準備

パソコンに接続する

接続例



本機にディスクを入れずに、インターフェースカードをパソコンのPC カードスロットに確実に奥まで挿入する

$ **パソコンの電源を入れる**
本機の電源は、自動的に入ります。

お知らせ
B 本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。
B パソコンによっては、インターフェースカードの挿入面が表裏逆になるものがあります。

■電源を手動で入／切するには
電源スイッチをスライドさせ、指を離す
POWER/BUSY 表示ランプが点灯／消灯します。

お願い
B POWER/BUSY 表示ランプ緑色点滅中および WRITE 表示ランプがオレンジ点灯中は、
・ディスクカバーを開けないでください。
・インターフェースカードを抜かないでください。
・本機の電源を切らないでください。
・AC アダプターを抜かないでください。
（パソコンの操作が不能になったり、データや記録メディアが使用できなくなることがあります。そのような場合は、パソコンのリセットを行ってください。）

準備

接続を確認する

本機にディスクを入れないで、「マイコンピュータ」のアイコンをダブルクリックする

CD-ROM ドライブ  の表示が追加されていることを確認してください。

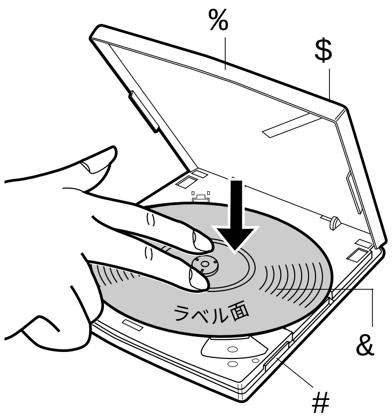
お知らせ
B  が追加されていない場合には、「故障かな!? と思ったら」（☞ 45ページ）をご参照ください。

準備

ディスクを入れる／取り出す

ディスクを入れる

本機は、電動オープン機構になっているため、電源が入っていないときはオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。



ドライブの電源を入れる
本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。

$ **オープンボタンを押す**
ディスクカバーが少し開きます。
（本機にディスクが入っている場合は、使用中のアプリケーションからディスクの「取り出し」を選択しても、ディスクカバーを開くことができます。）

% **ディスクカバーを持ち上げる（開く）**

& **ディスクを入れる**
ディスクの中心付近を ディスクが固定されるまで指で押さえます。

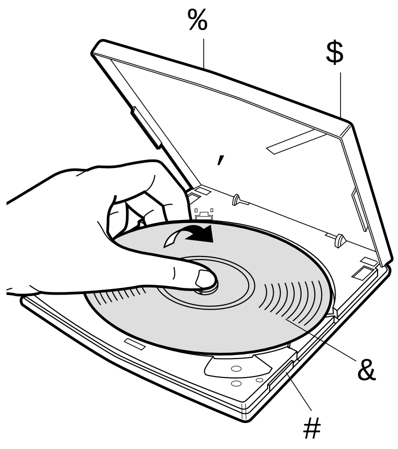
' **ディスクカバーを閉じる**

お願い

B ディスクは、確実にセットしてください。（確実にセットしないと、ディスクが外れ、傷つくことがあります。）

B 電源が入っていない場合は、ディスクカバーロックの強制解除を行なってください。（☞ 30ページをご参照ください。）

ディスクを取り出す



ドライブの電源を入れる
本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。

$ **オープンボタンを押す**
ディスクカバーが少し開きます。
（本機を使用中のアプリケーションからディスクの「取り出し」を選択しても、ディスクカバーを開くことができます。）

% **ディスクカバーを持ち上げる（開く）**

& **ディスクの回転が完全に止まるのを確認する**

' **ディスクを取り出す**
中央部分を押さえながら、端の方からつまみあげるようにして、取り出します。

お願い

B パソコンと接続して使用している場合は、本機を使用しているアプリケーションを終了させるなどして、本機の POWER/BUSY 表示ランプが緑色点滅していないこと、または WRITE 表示ランプがオレンジ色点灯していないことをご確認ください。

お知らせ

B B’s CLiP フォーマットされたメディアを使用中は、ディスクカバーがロックされますので、タスクバーに表示されているインジケータアイコンから「取り出し」を選択して、ロックを解除してください。

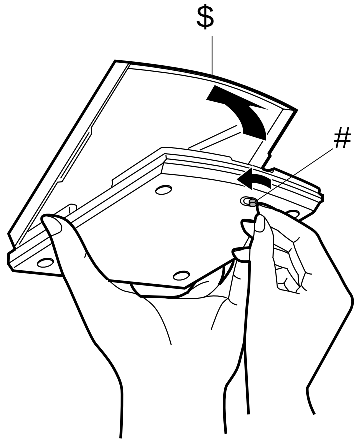
B データ書き込み中は WRITE 表示ランプが点灯し、ディスクカバーがロックされますのでディスクカバーを開けることができません。

準備

ディスクが取り出せないときは

■ ディスクカバーロックの強制解除

CD-R/CD-RW メディアにデータ書き込み中の故障、停電などでオープンボタンを押してもディスクカバーが開かない時や本機の電源が入っていない時、ディスクカバーロックを強制的に解除し、ディスクカバーを開けることができます。



本機裏側の強制オープンレバーをスライドさせる

$ **ディスクカバーを持ち上げる（開く）**

お願い

B CD-R/CD-RW メディアの回転が止まらないときは、AC アダプターをコンセントから抜いて、完全に回転を止めてください。回転中にディスクカバーを開けると CD-R/CD-RW メディアが外れることがあります。

準備

インターフェースカードを抜き差しする

付属のインターフェースカードは「プラグアンドプレイ」に対応しています。パソコンの電源を入れた状態で、インターフェースカードの抜き差しができます。抜き取る前に次の手順を行ってください。
（Windows Me/Windows 2000 の場合、表示の一部が異なります。）

1 本機からメディアを取り出す （☞ 29ページ）

2 画面右下（タスクバー）の PC カードアイコン  **をクリックする**

●CardBus モード時の表示



●16 bit モード時の表示



3 タスクバーに表示された上記のボタン表示をクリックする

●CardBus モード時の表示



●16 bit モード時の表示



4「このデバイスは安全に取りはずせます。」の表示を確認して、OK をクリックし、インターフェースカードを抜き取る

お願い

B パソコンと接続して使用している場合は、本機を使用しているアプリケーションを終了させるなどして、本機の POWER/BUSY 表示ランプが緑色点滅または WRITE 表示ランプがオレンジ色点灯していないことをご確認ください。

お知らせ

B B's CLiP フォーマットされたメディアを使用中は、ディスクカバーがロックされますので、タスクバーに表示されているインジケータから「取り出し」を選択して、ロックを解除してください。

B データ書き込み中は WRITE 表示ランプが点灯し、ディスクカバーがロックされますのでディスクカバーを開けることができません。

使う

DVD/CD-ROM を使う

DVD/CD-ROM の使用方法については、それぞれの DVD/CD-ROM（アプリケーション）に付属の説明書や Readme ファイルなどをご参照ください。

お知らせ

B 音声や音楽が本機の LINE OUT 端子から出るものがあります。
[音楽 CDデータ（オーディオトラック）を含んだゲームの CD-ROM、CD Extra、Portfolio CD（Photo CD）など]
本機の LINE OUT 端子に市販のアンプ内蔵スピーカーを接続してください。また、パソコンのサウンドシステムに LINE IN 端子がある場合は、市販のオーディオケーブルを使用して、LINE OUT 端子と接続してください。

音楽 CD を再生する

・パソコンに接続した状態で、パソコンの音楽 CD 再生ソフトを使って、音楽を聞くことができます。音楽は本機の LINE OUT 端子から出ます。
・デジタル音楽 CD 再生に対応しているパソコンをお使いの場合は、パソコンの設定により内蔵スピーカーから音楽を聞くことができます。
（詳しくは、パソコンの取扱説明書をご参照ください。）

お知らせ

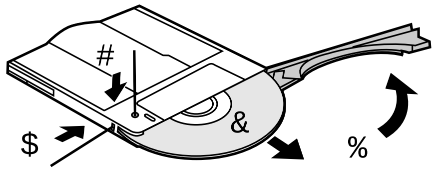
B 本機の LINE OUT 端子に市販のアンプ内蔵スピーカーを接続してください。また、パソコンのサウンドシステムに LINE IN 端子がある場合は、市販のオーディオケーブルを使用して、LINE OUT 端子と接続してください。
B 通常は本機に音楽 CD を入れると、自動的に音楽再生を始めます。自動的に再生されない場合は、音楽 CD 再生ソフトを起動させてください。

データを読み込む

DVD-RAM を使う

DVD-RAM ディスクの再生は、カートリッジから取り出し可能な TYPE2 メディアまたはカートリッジがないメディアで、UDF フォーマットのものにかぎります。

■ DVD-RAM ディスクの取り出し



ディスク取り出しロックピンを、先のとがったもので押し出す
$ **開閉用のへこみを押す**
% **開閉ふたを開ける**
& **ディスクを水平に取り出す**

お願い

B カートリッジから取り出したディスクの表面は、ごみやほこり、指紋などで汚したり、傷つけたりしないでください。また、落としたり、曲げたり、ラベルを貼らないでください。データの読み込みができなくなります。

お知らせ

B DVD-RAM ディスクの取り出し方は、製造メーカーによって異なる場合があります。ディスクの取扱説明書をよくお読みください。
B DVD-RAM ディスクの場合、ディスクを確認するまでに時間がかかることがあります。
B Windows 98、Windows Me 上で UDF2.0 形式でフォーマットされたディスクを使用するには、UDF リーダーが必要です。（本機のセットアップを実行し、UDF リーダーをインストールしてください。）
☞ 21ページ

使う

付属ソフトをインストールする前に

アプリケーションの削除

旧バージョンの DVD ビデオ再生ソフトや書き込みソフトまたは、他社の DVD ビデオ再生ソフトや書き込みソフトが、インストールされている場合は、あらかじめ削除してください。インストールされていない場合は、付属ソフトのインストールにお進みください。

■ アプリケーションの削除方法

1 スタート から「設定」をポイントし「コントロールパネル」をクリックしコントロールパネルを開き、「アプリケーションの追加と削除」のアイコンをダブルクリックする

「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。

2 「追加と削除」の一覧で削除するソフトを選択し 追加と削除 をクリックする

（Windows 2000 の場合 変更／削除 と表示されます。）
削除を確認するメッセージが表示されます。

3 はい をクリックする

（Windows 2000 の場合、ソフトによっては再度削除の確認が表示される場合があります。その場合は、画面のメッセージに従ってください。）
「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

4 OK をクリックする

アプリケーションの削除が完了したら、アプリケーションの追加と削除のプロパティを終了して、パソコンを必ず再起動してください。

使う

DVD ビデオ再生ソフトのインストール

■ 付属の DVD ビデオ再生ソフトについて

本機には DVD ビデオ再生ソフトとして、CyberLink 社製 PowerDVD が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。インストールおよび取扱についての詳細は、付属のクイックガイドをよくお読みください。

お願い

B ご使用のパソコンに、旧バージョンの DVD ビデオ再生ソフトや他社の DVD ビデオ再生ソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
B 使用中のアプリケーションおよびウイルス対策などの常駐監視型プログラムがあれば終了してください。

インストールするには

1 付属のユーティリティディスクを本機にセットする

（自動的に起動し、起動画面（セットアップメニュー）が表示されます。）



PowerDVD VR-X の
インストール

お知らせ

B 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の「Asmenu.exe 」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

2 PowerDVD をクリックする

（PowerDVD VR-X のインストーラーが起動しますので、画面の指示にしたがってインストールを行ってください。）CD-Key 番号を要求されたら　　　　　　　　　　　を入力してください。

3 インストールが終了したら、 終了(X) をクリックする

（DVD ビデオ再生ソフトが使用できるようになります。）

使う

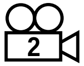
使用するには

通常は、DVD ビデオをセットするだけで自動的に再生が始まります。
(自動再生のオプションがオンに設定の場合)
自動的に再生しない場合は、スタート をクリックし、「プログラム」から「CyberLink PowerDVD VR-X」、「PowerDVD VR-X」の順に選択しクリックして PowerDVD VR-X を起動してください。PowerDVD VR-X の操作パネルは、家庭用ビデオデッキの感覚で操作できます。
操作方法については、付属のクイックガイドをよくお読みください。

お知らせ

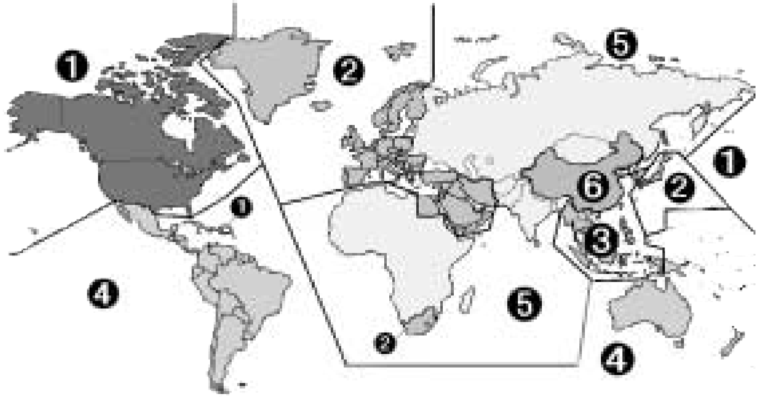
B DVD ビデオ再生ソフトの使用方法については、付属の PowerDVD VR-X クイックガイドまたは、付属のユーティリティディスク内にあるマニュアルをご参照ください。マニュアルを読むには、DVD マニュアル をクリックしてください。
なお、マニュアルをお読みいただくためには、Adobe Acrobat Reader（Version4.0 以上）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、Acrobat Reader のボタンをクリックして、インストールしてください。

機能表示の見かた

機能表示	表示の意味
	音声数
	字幕数
	アングル数
	収録画面サイズの種類
	再生可能地域コード

■ 再生可能地域コード（リージョナルコード）について

多くの DVD ビデオ（DVD ディスク）は、リージョナルコードにより保護されています。リージョナルコードは、下図のように地域ごとに管理されています。



DVD ビデオを見るためには､下記のリージョナルコードが一致している必要があります。

B　DVD ディスクのリージョナルコード
B　本機のリージョナルコード
B　再生ソフト（PowerDVD VR-X）のリージョナルコード

本機の出荷時リージョナルコードの設定は、２ に設定されています。
異なるリージョナルコードの DVD ビデオを再生しようとした場合は、リージョナルコードを変更するか、確認画面が表示されます。
そのまま OK をクリックすれば、再生ソフト（PowerDVD VR-X）と本機は、その新しいリージョナルコードに設定が変更され、再生が始まります。
設定は合計５回まで行うことが可能ですが、出荷時に１回目を使用しますので、使用可能な回数は４回までとなります。

お知らせ

４回目以降は最後に設定したリージョナルコードに固定され、変更はできなくなりますので、十分にお気をつけください。
不正にリージョナルコードを改変した場合のトラブルは、お客様の責任となります。

使う

書き込みソフトのインストール

■ 付属の書き込みソフトについて

本機には書き込みソフトとして、BHA 社製 B's Recorder GOLD、B's CLiP が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。

B **マスタリングソフトウェア**（B's Recorder GOLD）
CD-R や CD-RW メディアにエクスプローラと同じ感覚の操作でデータを書き込むことができます。書き込まれたディスクは、ほとんどの CD-ROM ドライブで読み出すことができます。

B **パケットライトソフトウェア**（B's CLiP）
システム常駐型の書き込みソフトで、ソフトを起動しなくてもフロッピーディスクと同様にドラッグ & ドロップの操作で CD-R や CD-RW メディアにデータを移動・保存・消去することができます。

お願い
B ご使用のパソコンに、旧バージョンの書き込みソフトや他社の書き込みソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。（削除方法については、☞ 34ページを参照ください。）
他社のパケットライトソフトと重複してインストールされた場合は、付属のパケットライトソフトが、正常に動作しない場合があります。

インストールするには

1 付属のユーティリティディスクを本機にセットする
（自動的に起動し、起動画面（セットアップメニュー）が表示されます。）



B's Recorder GOLD のインストール

B's CLiP のインストール

お知らせ
B 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の「Asmenu.exe 」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

2 インストールするソフト B's GOLD または B's CLiP をクリックする
（選択されたソフトのインストーラーが起動しますので、画面の表示にしたがってインストールを行ってください。）

3 インストールが終了したら、終了(X) をクリックし、パソコンを再起動する
（書き込みソフトが使用できるようになります。）

使用するには

■ B’s Recorder GOLD の場合

B’s Recorder GOLD を起動するには、 スタート をクリックし、「プログラム」から「B’s Recorder GOLD」、「B’s Recorder GOLD」の順に選択し、クリックします。

■ B’s CLiP の場合

B’s CLiP は、Windows を起動すると自動的に常駐します。
本機に未使用のメディアや B’s CLiP フォーマットされたメディアをセットすると、B’s CLiP が自動的に起動します。

お知らせ

B 書き込みソフトの使用方法については、付属のクイックガイドまたは、付属のユーティリティディスク内にあるマニュアルをご参照ください。ユーティリティディスクからマニュアルを読むには、B’s マニュアル をクリックしてください。
なお、マニュアルをお読みいただくためには、Adobe Acrobat Reader（Version4.0 以上）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属の CD-ROM に入っていますので Acrobat Reader をクリックして、インストールしてください。

お願い

B 書き込みソフトのインストールは、本機用デバイスドライバーのインストールが終了したあとで行なってください。(☞ 21ページ)

■「B’s Recorder GOLD、B’s CLiP」について

インターネットのホームページより、「B’s Recorder GOLD、B’s CLiP」のバージョンアップ等の最新情報を入手できます。(☞ 58ページ)

CD-R/CD-RW メディアにデータを書き込むには、パソコンに書き込みソフトのインストールが必要です。付属の書き込みソフトをパソコンにインストールしてください。(☞ 39ページ)

お願い

B **CD-R/CD-RW メディアに書き込む場合は、**
- パソコンのバッテリーが切れないように、パソコンは AC 電源でご使用ください。
- パソコンのサスペンドモードを使用しないでください。
  書き込みができなくなる場合があります。
- ノートパソコンのディスプレイを閉じないでください。
  サスペンドモードに入り、書き込みができなくなる場合があります。

本機で使用可能な書き込み速度は、以下の様になっています。最適な速度でご使用ください。

CD-R メディアでは、2倍速、4倍速、8倍速
CD-RW メディアでは、2倍速、4倍速

お知らせ

B パソコンの性能や使用環境によっては、最大速で書き込みができない場合があります。
B CD-R/CD-RW メディアの推奨品については、67ページをご参照ください。

使う

使う

CD-ROM 起動ディスクの作成

お使いのパソコンに問題が発生した場合は、ここで作成した CD-ROM 起動ディスクをパソコンにセットして起動することで、本機を使ってシステムのリカバリー（再インストール）を行うことができます。
本機が正しくセットアップされましたら、つづけて CD-ROM 起動ディスクを作成されることをお薦めします。

お知らせ

- B スーパーディスクドライブでは「CD-ROM 起動ディスク」は作成できません。パソコン用のフロッピーディスクドライブをお使いください。
- B Windows Me や Windows 98 など複数の OS を切り替えて使用されているパソコン環境においては、「CD-ROM 起動ディスク」の作成は対応していません。
- B システムのリカバリーには、パソコンに付属のリカバリー CD が必要です。
- B Windows 2000 には対応していません。
- B 内蔵 CD-ROM ドライブを搭載しているパソコンの場合、リカバリー作業はパソコン付属の取扱説明書の記述に従って、内蔵 CD-ROM ドライブから行ってください。本機用の「CD-ROM 起動ディスク」を作成する必要はありません。

1 作成手順

準備

- B **付属のセットアップディスク**
- B **パソコン指定（または付属）の起動ディスクのコピー**

1. **フロッピーディスクドライブに、付属のセットアップディスクを入れる**
2. **スタート をクリックし、「ファイル名を指定して実行(R)...」をクリック する**
3. **「名前(O):」ボックスに** a:¥f2h\f2hat.bat **と入力し、OK をクリック する**（フロッピーディスクドライブが A の場合）

```
###     CD-ROM 起動ディスク作成プログラム     ###
All Rights Reserved. (C) COPYRIGHT 九州松下電器株式会社 2001

CD-ROM 起動ディスクを作成します。下記のものを準備してください。
「パソコン付属の起動ディスク」のコピー

1  準備できました（ディスクはまだ入れ替えないでください。）
2  準備できていません（作業を中断します。）

「1」または「2」を選択してください。
```

上記の画面が表示されます。準備ができたら「1」を選択してください。
以後は、画面の指示に従ってください。

2 CD-ROM 起動ディスクの確認

1. **フロッピーディスクドライブに、1 で作成した CD-ROM 起動ディスクを入れる**
2. **本機にリカバリー CD を入れ、インターフェースカードのモード切替スイッチを16 bit モードに設定してから パソコンに接続する**
   CardBus モードのままでは、本機が正しく認識されません。
3. **パソコンの電源を入れ、起動させる**
4. **ご利用のパソコンに付属の説明書などを参考にして、リカバリー CD が認識されることを確認する**

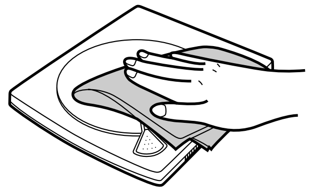
お知らせ

- B 作成した CD-ROM 起動ディスクでリカバリー CD を認識できない場合には、セットアップディスクの F2h フォルダ内にある「Readme.txt」ファイルをご参照ください。
- B 実際のシステムリカバリー作業は、リカバリー CD が認識されることを確認されたあとに行ってください。
- B 作成した CD-ROM 起動ディスクは、書き込み不可の状態にして大切に保管してください。

お手入れ

■本体表面が汚れたら

柔らかい布でふいてください。



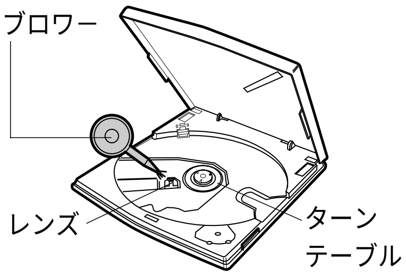
■ディスクが汚れていたら

柔らかい布で、内側から外側へ放射状に軽くふいてください。



■レンズが汚れていたら

レンズをカメラのレンズ用ブロワー（市販品）でお手入れしてください。



お願い

B レコードクリーナー、静電防止スプレーや薬剤（ベンジン、シンナー、アルコールなど）は使わないでください。変形、変色の原因になります。

故障かな!? と思ったら

まず、次の表に従って確認してください。それでも直らないときは、「保証とアフターサービス」（☞ 60ページ）をご参照ください。

	こんなときには	ここをお調べください
1	**本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない**	AC アダプターが正しく接続されていますか？ AC アダプターの保護機能が働いている場合があります。AC アダプターをコンセントから抜き、2～3分放置後再度コンセントに差してください。 ☞ 24ページ
		インターフェースカードの設定とパソコンのPCMCIA ソケットの設定が合っていますか？（CardBus モード または 16 bit モード） CardBus モードで使用する場合、パソコン側の PC カードスロットが CardBus に対応していることが必要です。☞ 19、20ページ
		パソコンへのセットアップを行いましたか？ パソコンのセットアップ（デバイスドライバーのインストール）を行ってください。☞ 21ページ
		インターフェースケーブルまたはインターフェースカードが正しく接続されていますか？ 正しく接続されているかご確認ください。 ☞ 25ページ
		パソコンにインターフェースカードが確実に奥まで挿入されていますか？ 正しく接続されているかご確認ください。

（次ページに続きます。）

その他

こんなときには	ここをお調べください

1 本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない

ケーブルのピンが曲がったり、折れたりしていませんか？

お買い上げの販売店またはお客様修理ご相談窓口にご相談ください。

本機の電源が切れていませんか？

本機の電源を入れ、パソコンを再起動してください。
☞ 23ページのヘルプファイルをご参照ください。

使用 OS が合っていますか？

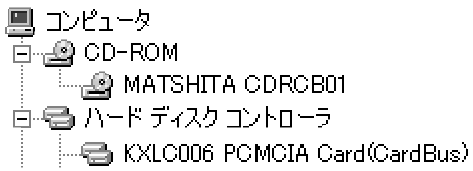
Windows 98/Windows 2000/Windows Me のみで動作します。

デバイスマネージャでドライバーが正しく組み込まれているか確認してください。

1 画面の「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする

インストール後、本機がパソコンに接続されると以下の様に表示されます。



不明な点がある場合は、ヘルプファイルをご参照ください。 ☞ 23ページ

故障かな!? と思ったら

こんなときには	ここをお調べください

2 ディスクが取り出せない（ディスクカバーが開かない）

本機が動作中になっていませんか？

CD-R/CD-RW メディアにデータ書き込み中はオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。書き込みが終了するのをお待ちください。

「B's CLiP」をご使用の場合には、タスクバーに表示されているインジケータにカーソルを合わせて右クリックし、「取り出し」を選択してください。
☞ 29ページ

ディスクの「取り出し」を選択してもディスクカバーが開かない場合は、強制オープンレバーを操作してください。
☞ 30ページ

3 本機、ACアダプター、インターフェースカードなどが温かい

故障ではありません。
（異常に高温になる場合は、AC アダプターを外し、お買い上げの販売店またはお客様修理ご相談窓口にご相談ください。）

4 正常な書き込みができない

「こんな疑問や質問があったら」 および 書き込みソフトの説明書をご参照ください。

☞ 52ページ

（次ページに続きます。）

こんなときには	ここをお調べください
5 **ディスクを入れたのに音とびしたり、データが読み書きできない**	ラベル面を上にして、ディスクを入れていますか？ ディスクの向きをご確認ください。 ☞ 28ページ
	COMPACT disc DIGITAL AUDIO や COMPACT disc のマークが入ったディスクを使用していますか？ COMPACT disc Recordable や COMPACT disc ReWritable のマークが入った CD-R/CD-RW メディアを使用していますか？ お使いのディスクまたは CD-R/CD-RW メディアをご確認ください。
	ディスクまたは本機のレンズが汚れていませんか？ お手入れしてください。☞ 44ページ
	ディスクに傷がありませんか？ 本機に異常がないことを確かめるために、別のディスクに取り替えてみてください。
	ゴミが本機のターンテーブルの上に付着していませんか？ お手入れしてください。☞ 44ページ

故障かな!? と思ったら

こんなときには	ここをお調べください
5 **ディスクを入れたのに音とびしたり、データが読み書きできない**	本機やディスクが結露していませんか？ ディスクを取り出して約1時間放置してください。
	振動検出モードスイッチが「ON」に設定されていませんか？ 振動が大きい場合や読みにくいディスクの場合は、振動検出モードスイッチを「OFF」に設定してください。振動検出が機能します。 ☞ 18ページ 通常は「OFF」に設定されています。
6 **音楽 CD、CD-ROM の音が聞こえない**	パソコンの音楽 CD 再生ソフトを使って本機で音楽 CD を再生する場合、音楽は本機の LINE OUT 端子から出ます。LINE OUT 端子に市販のヘッドホンやアンプ内蔵スピーカーを接続していますか？ 接続してください。 ☞ 17ページ
	（パソコンのサウンドシステムと本機の LINE OUT 端子を接続している場合） パソコン側の音量ボリュームを下げすぎていませんか？ また、音量ボリュームの設定が「ミュート」になっていませんか？ パソコン側の音量ボリュームを調整してください。

（次ページに続きます。）

故障かな!? と思ったら

7 DVD-RAMディスクが認識されない	**UDF 形式でフォーマットされたディスクを使っていますか？** DVD-RAM ドライブや DVD ビデオレコーダーで、UDF1.5 または UDF2.0 形式にフォーマットされたディスクをお使いください。 ☞ 33ページ
	UDF2.0 形式でフォーマットされたディスクをセットしていませんか？ 本機のセットアップ（デバイスドライバーのインストール）を実行し、UDF リーダーをインストールしてください。☞ 21ページ
	Windows 2000 で、UDF2.0 形式でフォーマットされたディスクをセットしていませんか？ Windows 2000 では、UDF2.0 形式でフォーマットされたディスクを使用できません。UDF1.5 形式でフォーマットされたディスクをお使いください。

こんな疑問や質問があったら

本機についての疑問は、「故障かな!? と思ったら」を先にお読みください。(☞ 45ページ)

■ 書き込みについて

Q 書き込み途中で失敗してしまうのですが、どうしたらいいですか？

A CD-R/CD-RW メディアへ書き込むためのデータがパソコンから送られてくる際、そのデータが途中で途切れたりすると書き込みが失敗してしまいます。

これを防ぐには、

- B 書き込み速度を変えてみる。（低速にする）
  実際に書き込みを行う前に、書き込みソフトで「テスト書き込み」を行ってご確認ください。
  パソコンの使用環境によっても使用可能な書き込み速度が変わる場合がありますので、下記内容をお確かめください。

- B ハードディスクのフラグメンテーションを解消する。
- B サスペンド／レジューム機能が働かないようにする。
- B 常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。
- B スクリーンセーバーを止める。
- B Active Desktop を止める。
- B ネットワーク接続をしない。

Q 書き込みに失敗するのですが？

A 本機の推奨メディアをご使用ください。

こんな疑問や質問があったら

Q 書き込む前と後ではデータのサイズが違うのですが？

A CD-R/CD-RW メディアとハードディスクなどのセクタサイズが違うことが原因です。そのため、CD-R/CD-RW メディアに書き込んだときは、ハードディスクなどに格納されたデータサイズより若干大きくなります。
また、書き込みモードによっては、書き込むデータのほかに情報エリア分の領域も使用します。

Q オリジナルのベスト版音楽 CD を作成したいのですが？

A それぞれの音楽 CD から wave ファイルとしてハードディスクに取り込み、それを付属の書き込みソフトを使って書き込みます。
詳しくは、付属の書き込みソフトのマニュアルをご参照ください。

Q 複数の CD-R/CD-RW ドライブ、または複数の書き込みソフトを使用して追記できますか？

A 同じドライブ、同じソフトで書き込むようにしてください。
追記する前のデータが読み込めなくなったり、本機およびその他のドライブでデータの読み込み・書き込みが正常にできなくなる場合があります。

Q パソコンにいくつもの書き込みソフトをインストールしたままで書き込みできますか？

A 以下の場合、正常に書き込みできないことがあります。

- 複数の書き込みソフトが同時に起動されている。（常駐するタイプの書き込みソフト含む）
- バージョンの違う書き込みソフトがインストールされている。

Q パソコンのBIOS設定を変更する必要がありますか？

A BIOS設定でACPIやAPMといったパワーマネジメント機能が有効の場合は、無効（Disable）に変更してください。
パソコンによってはユーティリティソフトで設定を変更するものがあります。詳しくは、パソコンの説明書をご参照ください。

Q 書き込んだ音楽データ（CD-DA形式）を再生するとノイズが発生するのですが？

Q パソコン内蔵CD-ROMドライブから8倍速、4倍速でのオンザフライ書き込みができません？

A パソコン内蔵のCD-ROMドライブでは、音楽データ（CD-DA形式）などを高速読み出しできないものがあります。

- 本機を使用して、パソコンのハードディスクドライブにデータを取り込んで、書き込みを行ってください。詳しくは、書き込みソフトのマニュアルをご参照ください。
- インターフェースカードを16 bitモードでご使用の場合、パソコンによってはノイズが混入されて記録されることがあります。CardBusモードに設定しなおしてください。

こんな疑問や質問があったら

■読み込みについて

Q 本機で書き込んだCD-R/CD-RWメディアは、他のドライブでも読み込めますか？

A マルチリードに対応したドライブをご利用ください。
一部のCD-ROMドライブでは、読み込みできない場合があります。

Q 他のドライブで書き込まれたCD-R/CD-RWメディアは読めますか？

A 通常は読み込めます。
ただし、
いくつものドライブで書き込まれたものは、読み込めない場合があります。
また、一部のドライブによって書き込まれたメディアは、読み込みできない場合があります。

Q 音楽データ（CD-DA形式）をパソコン側に取り込みたいのですが？

A 付属の書き込みソフトを使用してデータの取り込みを行ってください。パソコン上で、本機よりドラッグ＆ドロップをしてもハードディスクなどには取り込めません。

Q システムリカバリー後、読み込み速度が遅いのですが？

A インターフェースカードのモードスイッチは、システムのリカバリーのときには、16 bitモードに設定して使用します。16 bitモードのままでは最大速での読み込みができません。
インターフェースカードのモードスイッチをCardBusモードに設定してください。

■ DVD ビデオ再生について

Q DVD ビデオが再生できない

A DVD ビデオ再生ソフトのマニュアルやヘルプおよび下記の事項をご確認ください。

- 複数のドライブが接続されている場合は、本機が選択されていない場合があります。
- DVD ビデオと本機および、再生ソフトのリージョナルコードが合っていないと再生できません。リージョナルコードが合っているかご確認ください。
- PowerDVD の再生モードをご確認ください。
  DVD ビデオ：ディスクモード
  DVD-RAM：　ファイルモード

こんな疑問や質問があったら

Q DVD ビデオの音や画像がスムーズに再生できない

A DVD ビデオをスムーズに再生するには、パソコンのシステム能力が要求されます。DVD ビデオ再生ソフトのマニュアルやヘルプおよび下記の事項をご確認ください。

- インターフェースカードは、CardBus モードでお使いください。16bit モードではデータ転送能力がたりません。
- 他のアプリケーションを起動していたら終了してください。多くのアプリケーションを起動すると、CPU 能力が不足する場合があります。
- ディスプレイの表示領域や色の設定を変更してください。表示領域や表示色を少なくすると、CPU 能力を有効に使用できます。
- CPU のスピード設定をご確認ください。パソコンによっては、CPU 能力の低い省電力モードに設定されている場合があります。
- 音声がミュートに設定されていないかお確かめください。

製品サポートのご案内

本機の製品情報・ユーザーサポートご愛用者登録について

本機の製品情報やユーザーサポートに関する情報をインターネットでご案内していますので、下記アドレスでご利用ください。

■ 製品情報およびユーザーサポート：

A **http://www.pcc.panasonic.co.jp/p3/**
（ユーザーサポートに関しては、62ページをご参照ください。）

■ ご愛用者登録

本機付属のご愛用者登録はがき以外に、インターネットでの登録がご利用いただけます。下記アドレスでご利用ください。
（インターネットで登録されたお客様は、はがきでの登録は不要です。）
A **http://www.pcc.panasonic.co.jp/p3/user/index.html**

本機付属のソフトについて

本機付属のソフトについては、ソフトウェアの製造元および販売元のホームページでご案内しております。
最新のサポート情報をご覧いただけますのでご利用ください。

書き込みソフト B's Recorder GOLD / B's CLiP について

B's Recorder GOLD / B's CLiP についてのサポートは、下記にお問い合わせください。

■ 製品情報およびユーザーサポート

株式会社ビー・エイチ・エー　サポートセンター
（お問い合わせの前にマニュアルとサポート必要事項をよくお確かめください。）
A インターネット：**http://www.bha.co.jp/**
A TEL：**06−6378−3568**
A FAX：**06−6378−3336**
受付時間　月〜金曜日　10:00〜12:00　　13:00〜17:00
(夏季・年末年始特定休業日、祝祭日を除く)

■ ご愛用者登録

ご登録いただくと、新バージョンのご案内やお役に立つ各種情報の、ご案内をお届けすることができるようになります。付属のご愛用者登録はがき以外に、インターネットや FAX での登録がご利用いただけます。
ユーザー登録は無料です、ぜひ登録していただくようお願いいたします。
（インターネットで登録されたお客様は、はがきや FAX での登録は不要です。）
A インターネット：**http://www.bha.co.jp/entry/**
A FAX：**06−6378−3313**
（株式会社ビー・エイチ・エー　ユーザー登録係）

DVD ビデオ再生ソフト PowerDVD VR-X について

PowerDVD VR-X についてのサポートは、下記にお問い合わせください。

■ 製品情報およびユーザーサポート

サイバーリンク株式会社
（お問い合わせの前にマニュアルとサポート必要事項をよくお確かめください。）
A インターネット：**http://www.cli.co.jp/support/index.htm**
A TEL：**03−3662−8076**
A FAX：**03−3662−8009**
受付時間　平日　10:00〜13:00　　14:00〜17:00

■ ご愛用者登録

ご登録いただくと、新バージョンのご案内やお役に立つ各種情報の、ご案内をお届けすることができるようになります。
付属のご愛用者登録はがき以外に、インターネットや FAX での登録がご利用いただけます。
ユーザー登録は無料です、ぜひ登録していただくようお願いいたします。
（インターネットで登録されたお客様は、FAX での登録は不要です。）
A インターネット：**http://www.cli.co.jp/online/index.htm**
A FAX：**03−3662−8009**
（サイバーリンク株式会社　ユーザー登録係）

保証とアフターサービス （よくお読みください）

故障・診断・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社の「修理ご相談窓口」へ ！
- その他のお問い合わせは、
「P3カスタマーサポートセンター」へ ！



■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき

45ページの「故障かな!?と思ったら」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

- **保証期間を過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- **修理料金の仕組み**

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

P^3カスタマーサポートセンター



Panasonic Peripheral Products

商品についてのお問い合わせは ☎ 03-5821-3180
FAX. 03-5821-3140

10:00～12:00、13:00～17:00 （※土・日・祝日は除く）
〒101－0032 東京都千代田区岩本町3丁目2番4号
（東京建物岩本町ビル3F）

FAX情報サービス（24時間）のご利用は
（電話機付きファクシミリからダイヤルください）
TEL./FAX. 03-5821-3146

最新の情報をインターネットで
http://www.pcc.panasonic.co.jp/p3/

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口



修理のご相談は ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087-087（バナ バナ）

●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251	帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151	函館	函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内)	☎(0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(017)739-9712	宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600	山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120	福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555	千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎(027)352-1109	東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5450-7431
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249	山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(0552)22-5171
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756	神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)840-3155
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)729-2102	新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

中部地区

石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683	名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705	岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606	岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073	高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000	三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021	奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636	和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-1311
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225	兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695	浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129	岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128	広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133	山口	山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北447-23	☎(0839)86-4050

四国地区

香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477	高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125	愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036	宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151	熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658	天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815	鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
			大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0600

P³カスタマーサポートセンター行　（FAX　03-5821-3140）

【サポート依頼書】

整理番号：

お問い合わせ日	年　月　日	品　番	**KXL-CB10AN**
お買い上げ日	年　月　日	製造番号（11ケタ）	
フリガナ お名前		ご愛用者登録：済　未	
ご住所（ご連絡先） □ご自宅 □勤務先	☎　（　） FAX　（　）		
購入店名			

ご使用中のパソコンの機種（メーカー）名			
メーカー名		機種名	
ご使用中の OS の名称とバージョン（いずれかに○をつけてください）			
Windows 98/SE （初期導入、アップグレード）	Windows Me （初期導入、アップグレード）	Windows 2000 （初期導入、アップグレード）	その他 （　）

ご使用中のおもな周辺機器	メーカー名	形式名

どのような状況になりましたか？（エラーメッセージ、「故障かな!? と思ったら」でチェックした項目番号などできるだけ詳しくお書きください。）

※ 本用紙はコピーしてご使用ください。

推奨品

下記の推奨品をお買い求めの際には、販売店に品名を指定してください。

■ 推奨品

通　　称	メーカー
CD-R メディア	松下電器産業(株)製、太陽誘電(株)製、三井化学(株)製、(株)リコー製、三菱化学(株)製、日立マクセル(株)製
CD-RW メディア	(株)リコー製、三菱化学(株)製

仕様

使用環境	温度 5 ℃〜35 ℃　湿度 20 %〜85 %（結露なきこと）
保存環境	温度 −20 ℃〜55 ℃ 湿度 15 %〜85 %（結露なきこと）
本体外形寸法	130 (幅)×157 (奥行き)×18.5 (高さ) mm
本体質量	約 340 g
電　源	AC アダプター KX-WZ710（付属） AC 100−240 V、50/60 Hz
対応インターフェース	ATAPI
バッファー容量	2 MB
データ転送速度＊1	■書き込み A CD-R：2倍速、4倍速、8倍速＊2 ■書き替え A CD-RW：2倍速、4倍速 ■読み込み A CD-ROM/CD-R：最大24倍速＊3 A CD-RW：　最大12倍速 A DVD-ROM：　最大8倍速＊3 A DVD-VIDEO：　外周最大4倍速 A DVD-RAM：　最大2倍速
アクセスタイム **(自社測定ソフトによる)**	150 ms
消費電力 **(AC 100 V時)**	データ転送時：約10 W 本機電源スイッチ「切」の時：約1 W

＊1 データ転送速度の倍速の表記は、DVD では標準速 1350kB/s を CD-ROM（CD-R、CD-RW）では標準速150kB/s をベースにしています。
＊2 パソコンの性能や使用環境によっては、最大速で書き込みができない場合があります。
＊3 パソコンの性能や使用環境によっては、最大速で読み込みができない場合があります。

対応 フォーマット	CD-DA（音楽 CD）、CD Extra、 CD-ROM（Mode 1、Mode 2 Form 1）、 CD-ROM XA（Mode 2 Form 2）、CD TEXT＊4、 DVD-RAM、DVD-ROM、DVD-VIDEO、 Photo CD＊5（マルチセッション対応）、VIDEO CD
対応 メディア	CD-R（63分/74分/80分）、CD-RW（74分）
記録方式	Track at once、 Disc at once、 Multisession、 Packet writing
エラーレート	10^{-9}以下　（ソフトリードエラー） 10^{-12}以下　（ハードリードエラー）
オーディオ出力端子	LINE OUT 端子
インターフェースカード **インターフェースケーブル**	電源　(16 bit モード) DC 5 V 約20 mA 　(CardBus モード) DC 3.3 V 約20 mA カードタイプ　PCMCIA タイプ Ⅱ カードの外形寸法　54 (幅)×85.6 (奥行き)×5 (高さ) mm インターフェースコネクター　専用コネクター50ピン ケーブルの長さ　約400 mm（コネクターを除く） 質量　約140 g（ケーブルを含む）

＊4 付属ソフトを使用することにより、再生が可能です。
＊5 Photo CD 使用時には市販の再生ソフトが別途必要です。

本契約書は、お客様と松下電器産業株式会社との間の契約書です。
付属されているソフトウェアプログラム（本ソフトウェアといいます）の袋を開封する前に、この契約の条件を十分にご確認ください。
袋を開封されますと、お客様はこの契約に同意したことになります。
お客様がこの契約に同意できない場合には、未開封のままの袋と共に購入いただいたポータブル DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ 一式をご購入店へ返品ください。
お支払い済の購入代金を返却致します。
ただし、袋を開封されたり、部品を遺失されますと、購入代金は返却致しかねますので、ご了承ください。

１著作権

弊社は、九州松下電器株式会社あるいはその許諾者（許諾者と総称します）が著作権を有する本ソフトウェアに関し、お客様へのライセンスに必要な権利の許諾を受けております。
ポータブル DVD-ROM & CD-R/RW ドライブの購入により、お客様にはこの契約中で許諾される以外は何らの権利も発生せず、それらの権利のすべては許諾者あるいは弊社に帰属します。

２使用条件

（１）お客様は、１台のコンピューター上でのみ本ソフトウェアを使用することができます。
ネットワークで使用するために、ネットワークサーバーに本ソフトウェアをインストールすることは許諾されません。

（２）お客様は、本ソフトウェアあるいは付属する印刷物を複製したり、第三者にその許諾をすることはできません。
但し、（ａ）バックアップ用あるいは保管用として必要な本数、本ソフトウェアをコピーすること、及び（ｂ）お客様が本ソフトウェアのオリジナルをバックアップ用あるいは保管用とすることを条件として、１台のコンピューターのハードディスクに本ソフトウェアをインストールすることは許諾されます。

エンドユーザーライセンス契約書

（３）お客様は、本ソフトウェアを第三者に貸したり、リースすることはできません。
但し、お客様がこの契約書と共に本ソフトウェアのすべてのコピー、付属する印刷物並びにポータブル DVD-ROM & CD-R/RW ドライブを同時に譲渡し、譲渡を受ける方がこの契約の条件に同意した場合に限り、この契約に基づくお客様の権利を譲渡することはできます。

（４）お客様は、本ソフトウェアをリバース・エンジニア、逆コンパイルあるいは逆アセンブルしてはなりません。

（５）お客様は、この使用条件に規定された場合を除き、本ソフトウェアの全部あるいはその一部を使用、複製、修正、変更あるいは譲渡してはなりません。

（６）本契約書は、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証明書となりますので大切に保管してください。

３契約期間

お客様は、いつでも、本ソフトウェア、付属の印刷物並びにこれらの複製物のすべてを破棄することでこの契約を終結することができます。
また、お客様がこの契約書の条件に違反した場合にも、この契約は終結します。この場合、お客様は本ソフトウェア、付属の印刷物並びにこれらの複製物のすべてを破壊していただくものとします。

４保証

（１）弊社（その許諾者を含む）は、お客様あるいは他の第三者に対して、一切の明示あるいは黙示の保証を行いません。
また本ソフトウェアの機能がお客様の要求に合致していることも、本ソフトウェアに欠陥がないことも一切保証致しません。

（２）弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することあるいは使用できなかったことから生じる偶発的あるいは間接的な損害、または受けられるべき救済の損失、得べかりし利益の損失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。
上述の制限は、法律上の瑕疵（かし）担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因、訴訟形態のいかんにかかわらず、また当事者がこのような損害の可能性を連絡されていた場合であっても同様に適用されます。

BIOS **（バイオス）**	正式名は Basic Input Output System で、フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブなどのディスクドライブ、キーボードなどパソコンのハードウェアを動かすために必要となる最も基本的なソフトウェアです。通常はパソコン本体に内蔵されています。
CardBus **（カードバス）**	ノートパソコンなどの PC カードの規格で、従来の ISA バス（16 bit）に準じた仕様から、PCI バス（32 bit）に準じた仕様に発展させたもので、PC カードでの高速データ転送が可能となります。
CD Extra	音楽 CD のデータの他に、CD-ROM のデータが記録された CD のことです。特に内周側を通常の音楽 CD、それより外周側を CD-ROM として使用しているものの呼称です。 COMPACT disc DIGITAL AUDIO や CD EXTRA のマークが入っています。
CD-R	正式名は Compact Disc Recordable で、一度だけ書き込み可能なコンパクトディスクです。一度書き込んだデータの消去や書き換えはできません。書き込みモードによっては、空き領域に追記が可能です。
CD-RW	正式名は Compact Disc ReWritable で、書き込んだデータ全体または最後のセッションが消去でき、再度書き込みや書き換えが可能です。
Disc at once **（ディスク アット ワンス）**	CD 全体のデータをまとめて作成し、一度に書き込む方法です。追加書き込みはできません。
DVD	正式名は Digital Versatile Disc（デジタル多目的ディスク)で、CD と同じサイズの DVD-ROM は CD-ROM の7倍以上のデータ容量を持っています。
DVD-RAM	DVD 規格のひとつで、繰り返しディスクにデータの読み出し・書き込みができる（リライタブル）ディスクのことです。
DVD-VIDEO（ビデオ）	DVD 仕様のひとつで、映画など、主に家庭用ビデオソフトを DVD に記録したものです。ビデオの音声の言語や字幕、カメラアングルなどを切り替える機能があります。

マルチリード	CD-ROM や CD-R だけでなく、CD-RW（CD-ReWritable）メディアもよみだせるようにした CD-ROM ドライブの機能です。
Multisession **（マルチセッション）**	CD-ROM のフォーマットのひとつです。1枚の CD に複数のセッションが記録されているものです。
Packet writing **（パケットライティング）**	パソコン上でファイルとして扱えるデータをパケットと呼ばれる単位で書き込む方法です。
PCMCIA	正式名はPersonal Computer Memory Card International Association で、PC カードの標準化団体のことです。
Photo CD	米国の Eastman Kodak Company により研究開発された技術です。1枚の CD-ROM にたくさんのイメージ画像（写真など）が保存できます。
Track at once **（トラック アット ワンス）**	ひとつのトラックを、一度に書き込む方法です。 CD Extra の作成などに利用されます。
UDF フォーマット	Universal Disk Format の略で、パケットライティングや各種 DVD ディスク（DVD-RAM、DVD-VIDEO、DVDーROM、DVD-R）に採用されているディスクフォーマットです。
インストール	一般に、デバイスドライバーなどのソフトウェアをパソコンのシステムに登録する作業をいいます。
オンザフライ方式	データをソースファイルから直接読み込んで、CD-R/CD-RW メディアに書き込む方式です。大きなイメージファイルを必要とせず、ハードディスクの空き容量が少なく済みます。ただし、パソコンの内蔵 CD-ROM ドライブにソースファイルがある場合には、読み込みが間に合わず、エラーが発生する場合があります。
再生可能地域コード **（リージョナルコード）**	DVD ビデオは、再生できる地域が決められており地域ごとに管理されています。 日本の地域コードは、「2」です。
デバイスドライバー	パソコンに新しく追加した周辺機器を利用できるようにするためのソフトウェアです。

さくいん

― アルファベット順 ―

― 五十音順 ―

あ

か

さ

た

は

ま

や

その他

日本国内用です
本機を使用できるのは日本国内のみです。
This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.
此产品僅供日本国内使用。在日本国外使用时将不提供售后服務。

愛情点検	長年ご使用のポータブル DVD-ROM &CD-R/RW ドライブの点検を！		
	こんな症状はありませんか	● AC アダプターのケーブルやプラグが異常に熱い ● 煙が出たり、異常な臭いや音がする ● 水や異物が入った ● その他の異常や故障がある	▶ このような症状の時は、故障や事故の防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから AC アダプターを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	KXL-CB10AN
販売店名	☎（　　）—		
お近くの当社修理相談窓口	☎（　　）—		

松下電器産業株式会社
九州松下電器株式会社　国内商品販売事業部　ペリフェラル営業部

〒812-8531　福岡市博多区美野島4丁目1番62号

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOYINK™
この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

JDQP0105ZA　S0201F0